

# 総務教育常任委員会資料

(平成22年6月21日)

【 件 名 】

- 1 近未来を見据えた人財育成プロジェクトチームの現状について  
(教育総務課) ..... 1
- 2 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について  
(教育総務課・小中学校課・博物館) ..... 2
- 3 鳥取西高等学校改築整備事業の今後の進め方について  
(教育環境課・文化財課) ..... 3
- 4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について (教育環境課) ..... 4
- 5 美術品の購入について (博物館) ..... 5

教 育 委 員 会

# 近未来を見据えた人財育成プロジェクトチームの現状について

平成22年6月21日  
教育総務課

## 1 PT設置の趣旨

昨年度設置の「人財」育成プロジェクトの発展的継続

主課題：近未来の鳥取県を牽引する産業の担い手となる人財の育成

※各部局が横断的に連携し、地域産業の担い手となる若者を育成するとともに、本県産業界との橋渡しを行うことにより、地域産業を活性化し「県人口の社会増への転換」と「鳥取県の活力アップ」につなげる。

〈PTがターゲットとする分野〉

- ・EV（電気自動車）、LEDなどの新たな産業分野
- ・文化・観光資源を活用した観光分野
- ・高齢社会や県民の健康指向に関連した福祉分野
- ・バイオなど自然・環境に関連した分野

## 2 PT会議のメンバー

チーム長	副知事
関係部局	企画部、文化観光局、福祉保健部、生活環境部、商工労働部 農林水産部、教育委員会
事務局	教育総務課、高等学校課

※メンバーについては、各部局の意見等を踏まえて随時見直し予定

## 3 PTが担うべき役割

### (1) 教育現場と産業界との調整

産業界のニーズに沿った人財の育成（教科、カリキュラム）  
次期学科改編等への意見提案 など

### (2) 高校と高等教育機関との連携・調整

新産業分野を担う県内高等教育機関への進学促進策 など

### (3) 県が行う産業人材育成関連事業の集約・調整

## 4 PT会議の開催状況及び今後の予定

時期	内容
4月28日	キックオフ会議の開催 PTの趣旨、高校を取り巻く現状等について説明
6月～7月	取組方針案についての各部局との調整
7月	第2回PT（取組方針決定） 具体的な取組方針等検討
7月～8月	高等教育機関との意見交換 産業界との意見交換2～3回程度（分野別）
8月	第3回PT（予算要求、高校学科改編に向けて） PTとしての提言等検討、既存人財育成事業の見直しなど
10月	第4回PT（PTとしての提言取りまとめ）
10月～	人財育成関連事業の平成23年度予算要求（関係課）
平成23年3月	24年度～高校学科改編案取りまとめ

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成22年6月21日  
 教育総務課  
 小中学校課  
 博物館

- 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費  
 (6月4日までに追加実施を決定した事業) 8,491千円

2 追加実施事業の内訳

(単位：千円)

事業名 (所属)	H22年度にお ける雇用創出人数	H22年度 執行予定額	事業概要
県費負担教職員子ども手当認定等事務支援事業 (教育総務課)	6名	5,785	教職員の子ども手当の認定等を円滑に行うため、認定等に係る事務の補助を行う。
理科支援員配置事業 及び小学校外国語活動支援員配置事業 (小中学校課)	2名	2,446	小学校における理科及び外国語教育の活性化のため、非常勤職員を配置し、授業の充実と学力向上を図る。
美術事業費 (博物館)	1名	260	郷土作家や美術事業に関する調査研究を行う。資料調査作業を早急に進め、平成23年3月に予定している企画展の中で紹介する。

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

# 鳥取西高等学校改築整備事業の今後の進め方について

平成22年6月21日  
教育環境課・文化財課

鳥取西高等学校の改築について、文化財保護法に基づく文化財（史跡鳥取城跡附太閤ヶ平）の現状変更許可申請に当たり、文化庁と調整を行ってきたところ、5月31日文化庁から「現行案のままの現状変更許可申請の内容では許可できない。」との見解が示された。

このことから8月に予定していた現状変更許可申請を見送り、今後、関係者による検討会を設置し、整備の方向を検討していくこととしたい。

## 1 これまでの経緯

平成14年10月	県議会で現所在地存置の陳情が「趣旨採択」
平成15年5月	文化庁担当者との協議 ・地下遺構を破壊しなければ三ノ丸跡地での存続可能
平成20年6月	鳥取西高等学校改築基本設計作成
平成20年9月	文化庁に「文化財現状変更許可申請」を提出
平成20年10月	文化庁は県に対し「文化財現状変更許可申請」を返却 ・第2グラウンドの発掘調査を実施し、その結果を踏まえて1年後の申請を目指すべき
平成21年4月	第2グラウンド（史跡外）の文化財発掘調査実施
平成21年10月	県文化財保護審議会が教育長に「計画中止し、史跡外全面移転」の要望書提出
平成21年12月	県文化財保護審議会、同史跡・埋蔵文化財部会で改築計画への理解を求め説明
平成22年1月	史跡鳥取城と鳥取西高等学校のあり方を考えるタウンミーティング
平成22年3月	県文化財保護審議会で、改築計画への理解を求め説明
平成22年5月	文化庁記念物課長等と協議

## 2 文化庁が現行案を許可できない理由

- ・鳥取市の「史跡保存管理計画」（昭和60年策定）に定める『史跡地内にある建物等の増改築及び新築は強く制限し、城跡遺構の保存を第一とする。』との整合性が説明できない。
- ・将来の移転計画が示されていない。
- ・発掘調査により埋蔵遺構が見つかった第2グラウンドや堀などに杭を打つのでは文化財（遺構）の保護が完全とは言えない。
- ・地元関係者の理解を得られていない。

## 3 今後の進め方

鳥取西高等学校整備のあり方検討会（仮称）を設置し、「文化財（遺構）の保護」、「生徒の安全確保」、「教育環境の改善」の観点から、整備の方向を検討する。

### <想定メンバー>

- ・学校関係者
- ・学識経験者
- ・経済団体
- ・鳥取市
- ・オブザーバーとして文化庁にも参画を依頼

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成22年6月21日  
教 育 環 境 課

県立八頭高等学校南体育館耐震改修工事（建築・機械設備）に係る工事請負契約の一部変更について

工事名	県立八頭高等学校南体育館耐震改修工事（建築・機械設備）
工 事 場 所	八頭郡八頭町久能寺
契約の相手方	こおげ建設株式会社
契 約 金 額	契約金額 196,505,400円を 197,590,050円（1,084,650円増額） に改める。
工 期	平成21年9月 8日から 平成22年6月15日まで（変更なし）
契 約 年 月 日	平成22年6月10日
摘 要	（変更理由） 地下通路部分の壁面より湧水が確認され、排水対策として地下通路床に溝の追加設置等を行ったため。

美術品の購入について

平成22年6月21日  
博 物 館

鳥取県美術品取得基金を活用して以下の美術資料(45点)を購入する予定である。

購入予定作品

NO	分野	作家名	作品名	制作年(和暦)	材質技法等	員数	作品寸法 (cm)	購入予定価格 (税込千円)
1	近世 絵画	しまだ げんたん 島田 元旦 (1778-1840)	ぐんろくぐんかくずびょうぶ 群鹿群鶴図屏風	1826(文政九)年	紙本着色	六曲一双	(各)132.5×57.2	8,000
2	近代 洋画	まえた かんじ 前田 寛治 (1896~1930)	とりうちぼうのおとこ 鳥打ち帽の男	1925(大正14)年	油彩・カンヴァス	一面	51.5×45.0	6,300
3	近代 彫刻	つじ しんどう 辻 晋堂 (1910~1981)	かお(かんじゆ) 顔(寒拾)	1956(昭和31)年	陶彫	一点	31.0×24.0×24.0	7,600
4	現代 美術	やなぎみわ (1967~)	My Grandmothers /MOEHA	2009(平成21)年	レーザージェットプ リント、アクリル	一点	120.0×160.0	1,680
5	現代 彫刻	いだ かつみ 井田 勝巳	ときのきおく 時の記憶	2003(平成15)年	紙・木・真鍮・花崗 岩(黒御影石)	一点	118.0×130.5× 100.0	3,150
6	現代 写真	いわみやたけじ 岩宮武二 (1920~1989)	《馬》《三原山》等 計39点	1955(昭和30)年 ~1980年代撮影 /1960~80年代 プリント	印画紙、ゼラチン・ シルバー・プリント (一部の作品に、支 持体としてアルミニ ウム板を使用)	三十九点	主なサイズ: 19.6×24.5cm(8 ×10インチ)~ 27.9×35.5cm(11 ×14インチ)	6,930
							計	33,660

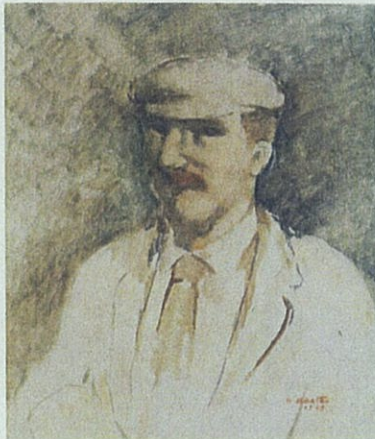


◎購入作品

1. 島田元旦《鶴鹿図屏風》



2. 前田寛治《鳥打ち帽の男》



3. 辻 晉堂《顔 (寒拾)》



4. やなぎみわ《My Grandmothers/MOEHA》



5. 井田勝巳《時の記憶》



6. 岩宮武二 写真作品



左：《馬》

右：《三原山》